

特定非営利活動法人 アメニティ 2000 協会

代表者	清水彬久
所在地	〒662-0833 西宮市北昭和町3-20
設立年月日	2000年7月1日
URL	http://homepage3.nifty.com/amenity2000/

【設立趣旨】

「アメニティ」とは「住み心地の良い」という意味。気が遠くなるような長い時間の中ではぐくまれてきた厳粛で神秘的な森、よどみのない水、豊かな実りをもたらす土、そして自然や生活と長い間、優しいハーモニーを奏でてきた民家や町並みの数々…。私たちの先輩から受け継いだこれらのものを次の世代に伝えるために、英国で盛んなナショナル・トラスト（広く基金を募り対象資産の保存、管理、運営を行う活動）の考え方を柱として「アメニティ 2000 協会」が2000年7月に設立されました。

【沿革】

2000年7月 設立。2000年11月 特定非営利活動法人に認定。
定款の活動目的にしたがい、環境保全活動（ヴォーリズ六甲山荘の保存活動、旧乾邸の保存活動、阪神間の戦前の建物の現状調査、古い町並の調査など）、教育啓発活動（調査報告書等の発行）、都市と農村との交流活動（有機生産農家での農業体験）、文化活動（名建築を舞台とするコンサート等の開催）、海外活動（タイ・チェンマイ YMCA の農業環境プログラムの支援）を行っています。

【活動目的】

広く市民に対して、平和を築くところをもって、歴史的資産の保全や自然との共存を担うナショナル・トラストの推進及び文化の基盤にエコロジカルな生活の座を回復するための諸事業を行い、環境の尊重を視点にした「やさしい文化の創造」に寄与することを目的としています。

【活動内容】

＜保存活動＞

○ヴォーリズが設計した六甲山荘（ヴォーリズ六甲山荘、神戸市灘区）の保存活動

1934年（昭和9年）築。ヴォーリズの山荘建築を代表する貴重な作品です。閉鎖状態にあったため、自ら所有して守っていくことを決め、広く一般から基金を集めナショナル・トラストの第一号として2008年3月に購入しました。同年7月から一般公開しています。2007年近代化産業遺産に認定。



六甲山荘

2008年10月国登録有形文化財登録。

○駒井家住宅（駒井卓・静江記念館）の運営

1927年（昭和2年）築。京都市左京区北白川にあるヴォーリズ設計の住宅。駒井卓元京都大学教授の住居でした。現在は（財）



駒井家

日本ナショナル・トラストの所有。

2009年4月から当協会が共同して運営にあたっています。

京都市指定文化財。

○旧乾邸保存活動

1936年（昭和11年）築。渡辺節設計。昭和初期の阪神間の代表的な洋館建築。存亡の危機にあったものを2003年8月から5年半にわたって内覧会等の保存活



旧乾邸

動を展開しました。来場者総数は約13千人にのぼり、2009年3月に神戸市指定文化財に指定が決定したのをうけて、保存活動を終了しました。

＜調査活動＞

○歴史的建築物研究会

3年間にわたって阪神間にある戦前の建物（560件）の残存確認・保全状況を調査した結果、400件を確認し、その成果を3冊の報告書にまとめました。

○町並み見学会

近畿周辺を中心とする重要伝統的建築物群保存地区などの見学・調査を行っています。

○建物の保存を考える in Tokyo

関東地域でも古い町並みなどの見学・調査を行っています。

＜文化活動＞

○歴史的建築物を会場とするコンサート「名建築と音楽シリーズ」
旧乾邸、大阪教会、神戸教会、綿業会館、旧甲子園ホテル、芦屋仏教会館などこれまでに18回開催してきました。

○アンサンブル・アメニティ

テノール歌手畑儀文さんを代表とする会員の一流アーティストによる演奏会を定期的に行っています。

*都市と農村との交流活動

○農業体験

会員の農家での農業体験

○コウノトリの郷との交流

豊岡市のコウノトリの郷での農業体験、見学会などを行っています。

＜海外活動＞

○タイ・チェンマイプロジェクト

2003年よりタイの小学校に対するチェンマイ YMCA の環境・農業教育プロジェクトのための資金援助と小学校との交流を行っています。

○海外のナショナル・トラスト団体との交流

*刊行物・・・「阪神間の戦前の建築物について」（第1次～第3次調査報告書）「町並み探訪」「英国ナショナル・トラストの旅」「アメニティ・レポート」（活動報告書）2000～2008



旧甲子園ホテルコンサート



豊岡田植え

【活動上の課題と今後の展望】

○今後の展望としてもっとも重要なことは、ナショナル・トラストの精神を広く普及させることです。

すなわち価値ある自然環境や歴史的環境を国民共有の財産としてみんなで守っていこうという思想が国民の共通認識になるように、運動を続けていきたいと考えています。

○現在の課題は会員（2009年8月現在398名）を増やし、活動の基盤のさらなる強化を図ることです。

○環境保全活動にかかわっている他団体との連携、海外のナショナル・トラスト団体や環境保全の活動をしている団体との交流を深めて、広範囲なネットワークを構築したいと考えています。